

普及活動の成果

課 題 名	食品産業との連携推進による加工・業務用産地の育成	振 興 局 名	県北振興局
活 動 対 象	県内外・地域内食品産業、管内直売所、6次産業化志向農業者、農産加工品製造者	実 施 期 間	平成30年4月～平成31年3月

【対象の概要】

県内外・地域内食品産業、管内直売所、6次産業化志向農業者、農産加工品製造者

【課題設定の背景】

- 食品企業から地域の農産物を活用するニーズはあり、県北地域の農産物を使った加工品は、平成29年度までに、いちご・茶加工品が10件商品化されたが、産地自らの意向による商品開発の取組は少なく、一次加工が可能な企業の情報や県北地域の農産物を使った加工品は一部に限られている。
- 新たに6次産業化に取り組む意向のある農業者からは年間数件の相談を受けており、具体的な相談については、市町、6次産業化サポートセンター等関係機関と連携して対応している。農産加工品認証制度「長崎四季畑」については管内で13商品が認証されているが、制度の周知が十分ではない。

【活動目標】

- 産地自らの商品開発にかかる取組意向の把握を十分に行い、産地のPR、農業所得向上につながる取組の検討並びに産地と食品企業のマッチングの機会を増加させる。
- 関係機関と連携し、6次産業化に取り組む農業者への支援を図るとともに、長崎県ブランド農産加工品認証制度「長崎四季畑」の周知を図る。

【関係機関との連携（活動体制・役割分担）】

- 加工業務用産地と食品企業との連携推進
管内市町、農協、商工団体等で県北地域加工業務用産地育成協議会を組織し、産地部会において加工業務用産地の育成、加工部会において産地と食品企業の連携を推進した。
- 6次産業化を志向する者への支援
管内市町、関係機関及び長崎県6次産業化サポートセンターと連携し、対象者を支援した。

【活動経過】

- 加工業務用産地と食品企業との連携推進
新商品開発に向け、企業訪問、ワークショップの開催等ニーズ調査を行い、茶粉末やいちごペースト等を18社にサンプル提供を行った。
佐世保の菓子企業有志で結成された佐世保スイーツフェスタ実行委員会と連携し、新商品開発を行う菓子企業17社に世知原町のサンプルを提供し、茶を使った新商品開発、世知原茶と世知原茶を使用した加工品のPRを支援した。
新商品開発を行った企業に対して新商品・試作品の個別相談会を開催し、異業種交流会への参加支援並びに首都圏での消費者調査を行い、商品の販売継続、ブラッシュアップを支援した。
- 6次産業化を志向する者への支援
研修会・個別相談会を開催し、26人の参加があった。同日に個別相談会を開催し、3件の相談に対応した。また、6次産業化研修会において四季畑制度の説明を実施し、四季畑への誘導を行った。
長崎四季畑の更新及び新規申請の計画作成支援を行い、現地確認及び総合審査会に対応した。

【普及活動の成果】

- 加工業務用産地と食品企業との連携推進

産地と食品企業、販売事業者を交えたマッチング会により産地情報の提供や食品企業のニーズ、販売事業者の情報共有を図ることができた。

18社にサンプルを提供し、県北地域のお茶及びいちごを使った9商品が商品化され産地のPRにつなげることができた。また、佐世保スイーツフェスタ実行委員会と連携し、県内の消費者及び首都圏の消費者に県北地域の茶産地と新商品を知ってもらうことができた。（来場者4,000人）

2 6次産業化を志向する者への支援

地域交流会において食品表示制度や商品の売り方等について研修を行い、理解を深めた。

6次化に取り組む相談に対応し、専門家（プランナー）のアドバイスを受けながらロゴマークの製作等に取り組むことになった

長崎四季畑については、新規10商品、更新3商品が認証を受けた。（県北22商品）

【対象の声】

スイーツフェスタに試作用サンプルを提供してもらえたことで、多くの菓子業者が参加し、新商品開発につなげることができた。

【今後の課題】

マッチング会へ参加する企業の固定化、加工業務用野菜の産地育成について、活動の行き詰まり感がある。活動産地と食品企業がともに活性化する方策について検討する。

6次産業化に取り組む意向のある農業者に対し、必要に応じてプランナー派遣を実施し、マッチング会などへの参加を推進する。

【成果の活用及び普及活動上の留意点】

地域の農産物を活用した商品開発が産地のPR、農業者の所得向上につながるような取組を支援する。

【発表・参考資料】

なし